

# 新バスシステム事業に関する反復型意識調査結果（第3回速報値／平成27年5月19日集計時点）

## ■集計概要

調査票発送数：689通（前回新バスシステムの考え方について、反対側 or どちらでもない・わからない or 無回答の方）

有効回答者数：320人（回収率46.4%）

うち 男性161人、女性159人

## ■新バスシステム事業の効果や期待することのうち 最も大きい理由上位5位

順位	理由	有効回答数	割合	第2回			第1回		
				有効回答数	割合	順位	有効回答数	割合	順位
1	(1) 今後もバス交通が継続していけるようになる。	32	36.4%	119	25.5%	1	107	16.5%	2
2	(13) 公共交通の空白区域の広がりを抑えられ、区バスや住民バスの充実につながる。	8	9.1%	26	5.6%	6	18	2.8%	10
3	(14) 運行事業者の経営が改善し、バスサービスが向上する。	7	8.0%	9	1.9%	11	7	1.1%	13
3	(7) 郊外バス路線が増便される。	7	8.0%	31	6.7%	5	30	4.6%	6
5	(2) 連節バスなどにより、まちや公共交通のイメージが変わる	6	6.8%	81	17.4%	2	107	16.5%	2

## ■新バスシステム事業のわからないことや反対する理由のうち 最も大きい理由上位5位

順位	理由	有効回答数	割合	第2回			第1回		
				有効回答数	割合	順位	有効回答数	割合	順位
1	(4) 新バスシステム事業よりも他に優先すべき事業がある。	65	30.5%	145	26.4%	1	311	22.8%	1
2	(2) 新バスシステム事業ではまちの活性化にならない。	25	11.7%	66	12.0%	2	129	9.5%	4
3	(20) 新バスシステム事業の進め方に懸念・不満がある	22	10.3%	44	8.0%	3	33	2.4%	11
4	(6) 乗換えによる手間が増え、不便になる。	15	7.0%	36	6.6%	5	81	5.9%	6
5	(5) 新バスシステム事業の効果に対してお金がかかりすぎる。	13	6.1%	30	5.5%	8	121	8.9%	5

## ■新バスシステム事業に関する賛否内訳

右図参照のこと。

